

- 最後は舌足らずでした。「正則関数は無限回微分可能」が証明出来たので
  - (正則関数についての) 逆関数定理
  - 正則関数の実部・虚部は調和関数などの定理の証明も完了した、ということを一言注意しておくべきでした(不覚)。